

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 九州財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第41期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社ヒガシマル

【英訳名】 HIGASHIMARU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 東 勤

【本店の所在の場所】 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

【電話番号】 099-273-3859 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 田之畑 武

【最寄りの連絡場所】 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

【電話番号】 099-273-3859 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 田之畑 武

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第1四半期 連結累計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,706,661	2,889,242	12,232,082
経常利益又は経常損失( ) (千円)	102,917	20,174	431,576
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失( ) (千円)	61,897	46,518	262,069
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	81,652	54,241	233,239
純資産額 (千円)	6,193,189	5,333,700	5,422,836
総資産額 (千円)	12,530,696	13,291,745	13,011,462
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (円)	13.16	12.00	57.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.3	40.1	41.7

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の向上や所得・雇用環境などの改善が景気の緩やかな回復基調を下支えしているとみられるものの、グローバル経済の減速や貿易摩擦の深刻化に伴い輸出や生産に弱い動きとなっているほか、労働力不足等に伴う人件費や物流費の上昇及び消費税増税予定等の影響など、さらに不安材料となる動きが先行き不透明な状況で推移しました。このような状況のなかで、小売業界における水産・一般食品のカテゴリーにおいては、その動向は低調な状況が続いており、業態を超えた価格競争が続く厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」への取り組みを積極的に推し進めるなか、品質・安全においては、食品事業及び水産事業に対する商品の信頼性向上やグローバル社会で通用する食品安全規格「ISO22000」の認証を取得する取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高28億89百万円（前年同期比6.7%増）、営業損失42百万円（前年同期は69百万円の営業利益）、経常損失20百万円（前年同期は1億2百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円（前年同期は61百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）の増収減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### 水産事業

水産事業は、養魚用配合飼料販売において、養殖環境に特に大きな環境変化はなかったものの、競合他社との価格競争が続く厳しい環境にあります。このような状況のなか、エビ飼料類及び魚類飼料類は自社販売及び受託生産販売が伸びたことから売上高は前年同期を上回りました。子会社におきましては、奄美クルマエビ株式会社が稚エビの養成が遅れて前期を下回ったものの、その他の子会社は順調に推移し前年同期を上回りました。しかしながら利益面におきましては、親会社は前年同期を上回りましたが、一部子会社における生産不調や在庫の評価減等もあり、前年同期を下回る厳しい利益水準となりました。

その結果、売上高は16億48百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期比89.5%減）となりました。

#### 食品事業

食品事業は、引き続き価格競争がある一方、物流費等の上昇から厳しい事業環境にあります。このような状況のなか、そうめん類は前年同期を下回りましたが、即席めん類、皿うどん類及びカップ類は、順調に推移し前年同期を上回りました。子会社におきましては、前年同期を維持するに留まっております。利益面におきましては、材料費や物流コスト等の上昇で厳しい環境で推移しました。

その結果、売上高は12億40百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は81百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億80百万円増加し、132億91百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億18百万円減少、受取手形及び売掛金が2億47百万円増加、仕掛品が1億36百万円増加、原材料及び貯蔵品が1億58百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ3億69百万円増加し、79億58百万円となりました。これは、主として買掛金が92百万円増加、短期借入金が3億46百万円増加、長期借入金が1億98百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ89百万円減少し、53億33百万円となりました。これは、主として利益剰余金が81百万円減少したことなどによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

前事業年度の有価証券報告書に記載のとおり、引き続き「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」に取り組んでまいります。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間のグループ全体の研究開発費の総額は55百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(注) 当第1四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において四半期連結キャッシュ・フロー計算書を掲げていないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,900,000
計	17,900,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,746,000	4,746,000	福岡証券取引所	単元株式数は 100株であります。
計	4,746,000	4,746,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		4,746		603,900		393,400

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 868,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,877,000	38,770	
単元未満株式	普通株式 200		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	4,746,000		
総株主の議決権		38,770	

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヒガシマル	鹿児島県日置市伊集院町 猪鹿倉20番地	868,800		868,800	18.30
計		868,800		868,800	18.30

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,291,532	1,872,955
受取手形及び売掛金	1,827,893	2,075,123
商品及び製品	587,637	657,262
仕掛品	582,327	718,434
原材料及び貯蔵品	1,179,808	1,338,756
その他	133,535	87,373
貸倒引当金	11,589	12,481
流動資産合計	6,591,145	6,737,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,578,547	1,560,668
機械装置及び運搬具(純額)	826,695	827,627
土地	2,127,540	2,127,540
その他(純額)	245,705	376,851
有形固定資産合計	4,778,488	4,892,686
無形固定資産		
のれん	311,169	294,376
その他	38,558	50,037
無形固定資産合計	349,727	344,413
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,332,606	1,357,726
貸倒引当金	40,505	40,505
投資その他の資産合計	1,292,101	1,317,220
固定資産合計	6,420,316	6,554,321
資産合計	13,011,462	13,291,745



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	768,948	861,845
短期借入金	2,841,142	3,187,669
未払法人税等	66,434	59,814
賞与引当金	160,394	116,699
その他	427,795	595,936
流動負債合計	4,264,715	4,821,964
固定負債		
長期借入金	2,454,803	2,255,910
役員退職慰労引当金	497,734	502,807
退職給付に係る負債	91,314	93,429
その他	280,058	283,933
固定負債合計	3,323,910	3,136,080
負債合計	7,588,625	7,958,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	5,207,107	5,125,694
自己株式	950,908	950,908
株主資本合計	5,318,498	5,237,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,338	96,615
その他の包括利益累計額合計	104,338	96,615
非支配株主持分	-	-
純資産合計	5,422,836	5,333,700
負債純資産合計	13,011,462	13,291,745

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,706,661	2,889,242
売上原価	2,070,711	2,341,603
売上総利益	635,949	547,639
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	117,331	126,188
貸倒引当金繰入額	-	891
給料及び賞与	111,498	136,259
賞与引当金繰入額	30,399	32,773
退職給付費用	8,242	7,377
役員退職慰労引当金繰入額	6,665	5,073
その他	292,164	281,907
販売費及び一般管理費合計	566,301	590,471
営業利益又は営業損失( )	69,648	42,832
営業外収益		
受取利息	474	625
受取配当金	2,498	3,203
為替差益	9,471	-
受取保険金	-	9,943
補助金収入	11,784	13,758
雑収入	15,650	16,557
営業外収益合計	39,879	44,088
営業外費用		
支払利息	3,965	5,142
為替差損	-	16,148
雑損失	2,645	139
営業外費用合計	6,610	21,430
経常利益又は経常損失( )	102,917	20,174
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	102,917	20,174
法人税、住民税及び事業税	33,631	58,731
法人税等調整額	7,864	32,387
法人税等合計	41,495	26,344
四半期純利益又は四半期純損失( )	61,421	46,518
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	476	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失( )	61,897	46,518

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	61,421	46,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,231	7,722
その他の包括利益合計	20,231	7,722
四半期包括利益	81,652	54,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,129	54,241
非支配株主に係る四半期包括利益	476	-

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高及び売上原価の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、第1四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	91,709千円	106,449千円
のれんの償却額	17,960	16,792

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	42,345	9	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	34,893	9	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,502,243	1,204,418	2,706,661	-	2,706,661
セグメント利益	84,865	96,332	181,197	78,280	102,917

(注) 1 セグメント利益の調整額 78,280千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費89,381千円、営業外収益12,639千円、営業外費用1,539千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,648,973	1,240,269	2,889,242	-	2,889,242
セグメント利益又は損失( )	8,879	81,110	89,990	110,164	20,174

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額 110,164千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費93,613千円、営業外収益4,228千円、営業外費用20,780千円であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	13円16銭	12円00銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	61,897	46,518
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	61,897	46,518
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,705	3,877

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社ヒガシマル  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹之内高司	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	上田知範	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒガシマルの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒガシマル及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。